

第178号

平成26年1月1日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

市史へんさん



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。新たな年を迎え、皆様にとって本年がよい1年となりますように。

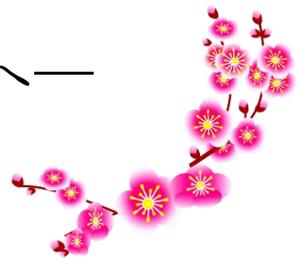
1月20日は大寒。寒さがさらに厳しくなり、1年の中で最も寒い時季になります。風邪などひかないよう、体調にはお気を付けください。

第59回市史講座

講師：垣内光次郎石川県教育委員会文化財課課長補佐

古代文字の世界 —与野評から能美郡へ—

12月1日 会場満員！ 参加人数64名



会場：小松市公会堂 大会議室

今回の講座は、小松市内の遺跡を中心に出土した土器や木簡に書かれた文字から、与野評(江沼郡)から野身郡(能美郡)に変わっていく中で、当時の人々が生活の中で文字とどのように関わり、認識していったかについて、学びました。

出土文字とは、地中から発見された文字を記した資料で、木簡、墨書土器などを指します。当時は丈夫で安価で記録には便利な木簡が普及していました。文字は記録と伝達の手段として、使われていたのです。

ここがポイント！

- ・文字を墨で書くことは、8世紀始めに出現し、後半に広がった。
- ・7世紀代までは、「与野評」のように土器に文字を刻んだ(刻書)。
- ・墨書土器の文字は、「米」や「丸」のように、住人の名称を書いているものもある。
- ・文字の使用は、「田人」や「田領」などと呼ばれる行政職の末端をになった人々や、「僧」や「沙弥」と呼ばれる仏教徒に見られる。
- ・墨書や刻書に見られる「富加」、「吉来」などの吉をよぶ文字は、そこに暮らしている人々の切なる願いであった。
- ・個人の名や施設名などの出土文字を分析することは、与野評から江沼郡、そして能美郡と変遷した地域の社会のあり方や文化の解明の手がかりになるだろう。今後のさらなる調査が待たれる。





市史講座 アンケート結果



市史講座はいかがでしたか？

- ・ほぼ理解できた 24人
- ・興味深い内容だった 17人
- ・また是非参加したい 17人
- ・勉強になった 17人

【ご感想・ご希望】

- ・墨の文字が長い時間を経てもはっきり残っていることに驚きました。
- ・スライドの説明がわかりやすかった。
- ・具体的で地域と結び付けて思い描く事ができ、楽しい学習になった。
- ・丹羽長重、前田利常、那谷寺について話を聞きたい。
- ・古文書にある人名などから小松地方の発達、発展状況の話を知りたい。

古文書講座 (第60・61・62回市史講座)

講師：木越 隆三氏 (石川県金沢城調査研究所長)

日程：平成25年2月11日(火・祝)、23日(日)、3月9日(日)

時間：午後2時～4時

場所：小松市公会堂1階 第1・2会議室

受講料：無料

受付：事前予約が必要。

事務局 (0761-24-5315) まで。



お知らせ

今回の市史講座の資料が残っています。ご希望の方は、電話(24-5315)または市史編纂事務局まで、お越し下さい。

<事務局 12月の活動状況>

- ・12月1日(日) 第59回市史講座
- ・12月5日(木) 近世村方部会
- ・12月10・26日 鉦山関係資料調査
- ・12月13日(金) 漁業関係調査
- ・12月24・25日 国立公文書館資料調査

<事務局 1月の活動予定>

- ・1月20日(月) 美術工芸部会

<1月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。

市史編纂担当 (小松市教育委員会生涯学習課)

- ・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91
- ・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

